



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

日本農業新聞 広告制作・入稿ガイド (ver.21.7.5)

【営業部門】

株式会社日本農業新聞 広報局 広告部

〒110-8722

東京都台東区秋葉原2-3

電話 03(6281)5810
FAX 03(6281)5852

【入稿・制作部門】

株式会社日本農業新聞 広報局 広告部
(割付降版グループ)

〒110-8722

東京都台東区秋葉原2-3

電話 03(6281)5847
FAX 03(6281)5873

1. 基本的な注意事項

■審査

新聞広告は事前審査を行う必要があります。オンライン入稿システム、メール、ファックスなどで、入稿締め切り10営業日前の正午までに審査原稿を入稿してください。

■入稿締め切り

【モノクロ】掲載4営業日前の17:00 【カラー】掲載7営業日前の12:00

※ 在版使用の場合は、掲載日・在版使用日を記入したゲラを1枚入稿してください
カラーの場合は掲載地域に応じた必要枚数の色ゲラを改めて入稿してください
(在版の保存期間は掲載後3カ月間です。また、メディアの返却は原則行いません)

■入稿方法

- ・ 弊社サーバへのオンライン入稿(入稿方法は別途ご案内します)
- ・ メディア(CD-ROM)を弊社に送付もしくは持ち込み

■入稿メディア

CD-ROM……Mac/Windows双方に互換性のあるフォーマットを使用してください。

容量:650MB/700MB フォーマット:ISO9660/UDF

■CDラベル

広告主・掲載日・掲載地域・原稿サイズ・色・ファイル名・広告会社を版面に直接記入するか(推奨)、これらを明記したラベルをケースに収めて、入稿してください。

■在版管理

CD-Rは掲載後1週間を目途に保管しますが、その後はすべて処分させていただきます。必要な場合は1週間以内に引き揚げて頂くようお願いいたします。

なお、広告データは弊社のシステム内で、最終掲載日から3カ月間保存しますので、3カ月以内に在版を掲載される場合は、念校ゲラの送信と指示のみで結構です。

■原稿の訂正

完全原稿での入稿をお願いします。当社では象嵌は行いません。

■ウイルスチェック

原稿は、送稿前に必ずウイルスチェックを行ってください。

■広告入稿チェックシート(最終頁に見本掲載)

制作側と出力側のトラブルを防ぐために必要です。記入の上、CD-Rに添付して入稿してください。オンライン入稿の場合は、必要事項を記入した用紙を下記宛てにFAXをお願いします。

日本農業新聞広告部 降版グループ 03-6281-5873
(東京都台東区秋葉原2-3)

2-1. 基本的な注意事項(EPS,PDF共通)

■保存形式

EPS(IllustratorCS5まで)、N-PDF(PSD・AI形式は使用しないでください)

■広告サイズの設定

- 広告サイズは「広告料金表」や「弊社公式サイト」の「広告ガイド」でご確認ください。なお、弊社では、記事下広告に関しては「N-SIZE」での入稿をお願いしています。
- PDF入稿の場合、制作前に「アートボード」のサイズを広告のサイズを設定しておいてください。
- 広告サイズは線の外側の大きさで読み込みます。線の位置を「中央に揃える」で外枠をひいた場合は、アウトライン化し、必ずサイズを確認してください。あるいは、線の位置を「内側に揃える」で作成してください。

■画像

PDF・EPSともに、全て埋め込んでください(リンク画像不可)。

■フォント

全ての文字をアウトライン化してください。

『文字』→『フォントの検索・置換』で文字が消えていることを確認してください。

■カラーモード

【モノクロ原稿】グレースケール

【カラー原稿】CMYK(RGB不可) ※単色不可

「カラー画像」の場合、画像を配置前にCMYK変換してください。4C原稿の中にスポットカラーやRGBで色指定された画像やファイルがあると、それらは意図しない色で展開されてしまいます。「モノクロ画像」の場合、画像を配置前にモノクロ(グレースケール)に変換してください。カラーチャンネルが残らないようご注意ください。モードが正しくないだけで(実際に色が使われているかを問わず)エラーとなります。

※QRコードは、黒のみ(K100%推奨)で作成して下さい。4C原稿の場合、黒を使用したQRコードで、複数のカラーを使用した「リッチブラック」にしますと、刷り上がった時の網点の版ズレにより読み込みできない場合があります。又、2色以上のカラーを使用した場合も読み込まない場合がありますので、ご了承ください。

■推奨画像解像度

実使用サイズにおいて、240dpi(モノクロ・カラー共通)

2-2. その他注意事項(EPS,PDF共通)

■透明&効果

効果を使用する際には、事前に『効果』→『ドキュメントのラスターサイズ設定』からカラーモードをCMYKに、解像度を240～350ppiに設定してから作業をしてください。

透明・効果を使用した場合は『オブジェクト』→『アピアランスを分割』で必ず効果を埋め込んでください。

また埋め込んだ際、効果のオブジェクトのボックスがサイズの外に出る場合は、クリッピングマスクで効果部分が外に出ないようにしてください。

■線幅

0.2ポイント以上(白抜きケイは0.6ポイント以上)を推奨します。細すぎる線はかすれなどが起こり再現ができません。

■文字の大きさ

5.5ポイント以上を推奨します(網掛け、白抜き文字は8ポイント以上)

■インキの総使用量

240%以内(UCR値)

■枠外オブジェクト

「トンボ」「注釈」などを広告原稿の外側に記載しないでください

また、オブジェクトの影などが広告サイズからはみ出さないようにしてください

■出力解像度とスクリーン線数

弊社での出力解像度は1200dpi スクリーン線数はモノクロ・カラーとも120線です

■オーバープリント

RIP上で設定するためK100%は自動的にノセになり、アプリケーションでのオーバープリントの設定は反映されません。

ノセにしたい場合はK100%で、ヌキにしたい場合はK99.9%で作成してください。

■プロファイル

納品ファイル内のプロファイルは破棄されますのでご注意ください

■レイヤー

納品ファイル内のレイヤーはなるべく1枚に統合してください

■圧縮

「納品ファイルの圧縮」は行わないでください

2-2. その他注意事項(EPS,PDF共通)

■ファイル名

・ファイル名は以下のように「掲載日-広告主・内容など-色数.拡張子」の順番で名前を付けてください(「掲載日」、「-」(ハイフン)、「色数」、「拡張子」は半角必須)。

※オンライン入稿の際には、アップロード時にフォームで「①掲載日」「③色数」を入力いただきますので、お手元のファイル名(②)に「④拡張子」が正しく記入されていればOKです。

0901-nichinouad新商品全15段-N.eps

① ② ③ ④

記入例: ※①と②の間、②と③の間に必ず「-」(半角ハイフン)を入れてください

①[掲載日]…月日を半角4桁で入力してください。月極は下二桁を『00』に。(9月月極→0900)

②[広告主・内容など]…掲載クライアント名、広告内容、段数などを表記してください。

③[色数]…何色で刷るかを分かるように半角で記入。モノクロ→「N」カラー→「4c」

④[拡張子]…「.eps」もしくは「.pdf」をファイル形式が分かるように付けてください

■ EPS形式で保存(PDF形式での保存の際は次項をごらんください)

プレビュー…Mac/8bitかTIFF/8bit

オーバープリント…保持

プリセット…高解像度

CMYK PostscriptをRGBファイルに含む…チェックを外す

Adobe Postscript…レベル2または3 にしてください。

2-3. PDF制作時における注意事項

■使用できるPDF形式は「N-PDF」のみです。

「N-PDF」での制作時には、必ず、一般社団法人日本広告業協会ウェブサイト内の「N_PDF_ver_1.1新聞広告デジタル制作・送稿ガイド」をご一読いただき、同ガイドに沿って設定ファイルのダウンロード・PDFファイルの制作・プリフライト・送稿を行ってください

(https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/)

- ・ PDF入稿の場合、制作前に「アートボード」のサイズを広告のサイズを設定しておいてください。
- ・ 「文書のセキュリティ」「印刷の制限」を設定しないでください
- ・ 複数のページを設定しないでください、また「コメント」は全て取り除いてください
- ・ アートボードの内側サイズ＝広告のサイズとなるため、囲みケイは必ず線の位置を「内側」にしてからアウトライン化してください。
- ・ 送稿前に、Adobe Acrobat Pro を用い、日本広告業協会作成の「N-PDF」プロファイルを設定し、プリフライトをかけてから入稿してください。
- ・ 上述のプリフライトで確認できない「インキ総量(≤240%)の確認」「オーバープリントがないことの確認」はAcrobat Pro の「出力プレビュー」で行ってください。

【参考】よくある原稿データエラー

広告原稿データをご入稿いただいた際に、実際に多く発生しているエラーの原因は、下記のとおりです。

ご入稿いただく前に、下記の点を再度ご確認くださいませよう
お願いします。

- 原稿枠外に画像・文字がはみ出ている
- 文字にアウトラインがかかっていない
- 規定以外のファイル形式(AiやZIP)での入稿
- イラストレーターのバージョンが高い
- モノクロ原稿内にカラー要素が混じっている
- ガイド(不要な罫線)が残っている
- 余白がある
- オーバープリントが設定されている
- カラー設定が「CMYK」になっていない
- データ容量が大きすぎる

【その他】

広告原稿データの問題ではありませんが、オンライン入稿を利用いただく際、色、広告サイズ、掲載日、などの入力間違いも多く発生しております。データを送信される前に今一度、登録内容に誤りがないか、送信前の画面上でチェックをいただけますようお願いいたします。

3-1. 送稿時の要領

	オフライン(CD-ROM)送稿	オンライン送稿
ファイル形式	EPSもしくはN-PDF	EPSもしくはN-PDF
必要なもの	①データの入ったCD-ROM ②ゲラ ③記入済みの広告入稿チェックシート ※巻末に見本掲載	①広告原稿データ ②記入済みの広告入稿チェックシート ※巻末に見本掲載 (別途FAXで「日本農業新聞 広告部降版制作グループ」宛 03-6281-5873に送信ください) ③(EPSの場合)念校ゲラ用PDF ④(カラー広告の場合)色見本ゲラ(要別途郵送)
データ	①EPS入稿 ・EPSファイル ・念校ゲラ用PDFファイル ②PDF入稿 ・PDFファイル	①EPS入稿 ・EPSファイル ・念校ゲラ用PDFファイル ②PDF入稿 ・PDFファイル
ゲラ	<u>モノクロ原稿 1枚</u> <u>カラー原稿 20枚</u> (全国通し広告の枚数です。地区版の場合は担当にお問い合わせください)	<u>モノクロ原稿 EPS原稿: 1枚</u> (オンラインでPDFを送付、もしくは別途FAXで送信) <u>PDF原稿: 不要</u> <u>カラー原稿 EPS,PDF共に20枚</u> (要別途送付。「20枚」は全国通し広告の枚数です。地区版の場合は担当にお問い合わせください)

3-2. PDF送稿における注意事項

- 送稿前に、Adobe Acrobat Pro を用い、日本広告業協会作成の「N-PDF」プロファイルを設定し、プリフライトをかけてから入稿してください。
※プロファイルは日本広告業協会WEBサイト(https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/)から規定のファイルをダウンロードして下さい
- 上述のプリフライトで確認できない「インキ総量(≦240%)の確認」「オーバープリントがないことの確認」はAcrobat Pro の「出力プレビュー」で行ってください。

重要: EPSとPDFを両方送稿された場合は、特に連絡がない限り、EPSファイルを「新聞印刷用ファイル」、PDFファイルを「送稿ゲラ」として扱いますのでご注意ください。